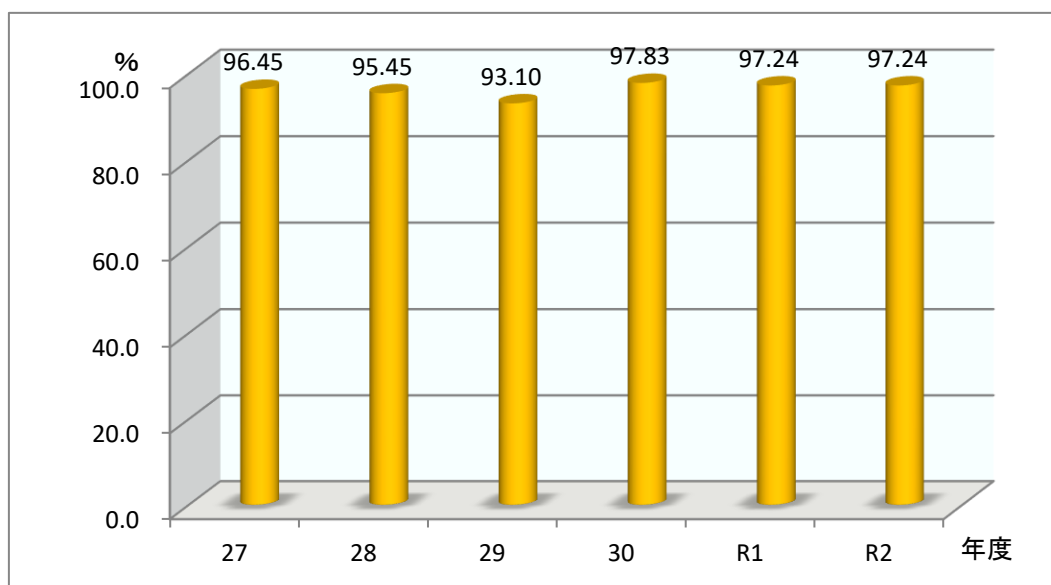


10 急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率

解説

アスピリンは抗血小板作用があり、急性心筋梗塞の予後を改善するのに有効であることは多くの臨床研究で明らかにされています。
当然行われてしかるべき診療であり、あえて指標とする意義は少ないかもしれませんが、適切に診療プロセスが把握できるかを問う指標でもあります。

実績



自己点検評価

アレルギー、心肺停止やショック状態などで投与できない方以外は全ての患者様へ投与しています。

定義

急性心筋梗塞患者における入院当日もしくは翌日のアスピリン投与率(%)。
緊急入院に限ります。再梗塞を含みます。

算式

分子:入院翌日までにアスピリンが投与された患者数
分母:最も医療資源を投入した病名が急性心筋梗塞の患者で、且つ緊急入院した患者数